

まちの話 だい

5月2日 | 八十八夜に茶祖への祈り

茶祖・栄西^{えいさいぜんじ}禅師の遺徳をしのび、茶業振興を祈願する「茶感謝祭」が牧之原公園で開催されました。金谷仏教会の僧侶による供養の後、染谷市長をはじめとする茶業関係者から、感謝の意を込めた新茶が立像前の祭壇に献上されました。

式典後には、五和保育園の園児が、かわいらしい豆茶姿で登場。かなや茶娘大使と一緒に「ちゃつきり節」と「金谷音頭」を披露してくれました。



5月21日 | バラの香りに包まれて

バラの花が春の見頃を迎え、5月12日から「ばらの丘フェスティバル」が開催されました。

園内では、約360品種8,700株のバラを栽培。「ミスシマダ」や「メモリーオブシマダ」など、同園オリジナルの品種も見ることができます。期間中は、吹奏楽団の演奏やポニー乗馬体験なども行われ、多くの来場者がカメラ片手に、優しい香りに包まれた園内を散策していました。

5月26日 | 幻想的に浮かぶ蓬莱橋

25回目を数える「蓬莱橋ぼんぼり祭り」が26日と27日に、蓬莱橋周辺で開催されました。初夏恒例の祭りには、風情ある風景やステージイベントを見ようと、多くの人々が訪れました。

橋の左右の欄干に、絵手紙教室の生徒や有志による絵が描かれた約150基のぼんぼりを設置。夜には灯りがともされ、橋脚のライトアップと相まって、橋全体がカラフルに浮かび上がりました。





4月29日 | 昭和の名車が集結

第3回「昭和のモーターショー」が島田市博物館で開催され、県内外から昭和時代の名車約80台が島田に集まりました。

会場には、1960～70年代の車を中心に、国産車のほかドイツや英国など国内外の貴重な名車・旧車を数多く展示。来場者は、運転席やエンジンルームをのぞいたり、記念撮影をしたりして、昭和の空気を懐かしんでいました。

5月23日 | 横綱目指しいざ勝負

初倉保育園で「こどもの日」にちなんだ恒例の相撲大会が行われました。

参加した年長児28人は、気合いの入った表情で土俵入り。四股を踏んだ後、行司の掛け声で力一杯ぶつかり合うと、砂だらけになるほどの真剣勝負を繰り広げました。取組後、男児と女児の上位2人ずつが手作りのまわしを締めて横綱と大関になりきると、応援する力士から拍手が送られました。



5月26日 | 川根愛を空から撮影

川根小学校の運動会で、ドローン撮影が行われました。これは、創立50周年記念事業「川根小ラブフェスティバル」で使用する動画制作のためです。

撮影用ドローンは、地元企業の(株)松井測量設計事務所が提供。地域ぐるみで、イベントに向けた準備を進めています。当日は、児童・保護者だけでなく地域住民も参加し、みんなでドローンに手を振ったり、横断幕を掲げたりしていました。